



<今月のTips> 仮想デスクトップからそのまま印刷が行なえます

仮想デスクトップ上で表示しているPDFやWord、Excel、PowerPoint等のファイルは、プリンタ設定を変更することで、ローカルのPC（仮想デスクトップ空間ではない自身のPC内の空間）にダウンロードすることなく、そのまま仮想デスクトップから印刷を行うことができます。

【仮想デスクトップから直接印刷する方法（規定プリンターの変更）】

1	<p>予め、仮想デスクトップからサインアウトした状態で以下の設定を行って下さい</p> <p>①画面左下の「スタートメニュー」をクリックします</p> <p>②設定ボタン（歯車マーク）をクリックします</p>	
2	<p>「デバイス」をクリックします</p>	
3	<p>①「プリンターとスキャナー」をクリックします</p> <p>②「Windowsで通常使うプリンターを管理する」のチェックがついている場合は、クリックをしてチェックを外します</p> <p>※②のチェックがついていると、最後に使用したプリンターが通常使用するプリンターとして自動で設定されます</p>	
4	<p>使用したいプリンターをクリックして、表示された「管理」ボタンをクリックします</p>	
5	<p>「既定として設定する」をクリックします</p> <p>プリンター名の下に「既定」の文字が表示されたら設定完了です。仮想デスクトップへログインをしてダウンロードをせずに直接印刷ができるようになっているかご確認ください</p>	

<有帆小学校> 6年生：算数／表を使って考えよう

◆授業のポイント◆

- ・ 予め、ロイロノートのカードを使用して考え方のヒント順番に作成しておき、後ろに繋がっているヒントのカードは折りたたんで隠しておく
- ・ 段階的にヒントカードを提示することで、児童は自身の理解度に応じて取り組むことができる

◆授業の流れ◆

- ① 先生より問題が提示され、ヒントカードや表の画像等が配布される
- ② 児童それぞれが答えを考える（ノートやロイロノートを用いて）
- ③ ノートやChromebookを持ち寄ってグループで意見交換を行う
- ④ スプレッドシートやロイロノートで配布された表にグループの意見をまとめる
- ⑤ 黒板へグループの考えを書き込み、他のグループと比較しつつ発表する

◆授業の様子◆

折りたたまれたヒントカードを開くことで次のヒントを確認することができます。ヒントは3つのカードに別れており、1つ目のヒントを見ても分からなければ次を見ろといった難易度の調整を自分で行うことが可能です。児童たちは、ノート、ロイロノート、スプレッドシートなど複数のツールから、各自が良いと思うツールを選択して答えを考えていました。自身で考え、グループで話し合い、クラスに向けてグループとしての考えを発表することで、クラス一丸となって正解へと進む様子が見られる授業でした。



問題と3段階のヒント



表についての話し合いの様子



クラス全体へ発表する様子

<埴生小中一貫学校> 3年：図工／紹介カードを作ろう！

◆授業のポイント◆

- ・ ロイロノートの画像の挿入方法を利用して、紹介カードの作成方法を学ぶ
- ・ Chromebookのカメラ機能を使って、上手に撮影するコツを掴む

◆授業の流れ◆

- ① 大型モニターにて完成例を表示する
- ② 以前の授業で作成した作品をChromebookのカメラ機能を使って写真撮影をする
- ③ ロイロノートのカードに、撮影した作品の写真を挿入し、作品の特徴や性格を入力する
- ④ 紹介カードの完成後に、一人ずつ前に出て発表する

◆授業の様子◆

写真撮影では、上手く撮影できない場合には友達に手伝ってもらおうなど協力しあう姿が見られました。また、紹介文を入力する場面では、キーボードで入力する児童もいれば、画面に手書きをして入力している児童もあり、個々のスキルに併せて柔軟に授業が進められていました。



大型モニターに完成例を表示



写真撮影をしている様子



紹介カードを作成している様子